

令和 3 年

高松市教育委員会 10 月定例会

会 議 録(抄本)

10月21日(木)開会

10月21日(木)閉会

出席した教育長及び委員			
教 育 長	藤 本 泰 雄		
委 員	吉 澤 潔		
	葛 西 優 子		
	関 元 盛 夫		
	小 方 朋 子		
	富 家 佐 也 加		
欠席した教育長及び委員			
説明のため会議に出席した者等			
教育局長	森 田 素 子		
教育局次長 総務課長事務取扱	中 谷 厚 之		
教育局次長 生涯学習課長事務取扱	合 田 紀 子		
中央図書館長	石 野 知 津		
学校教育課長	山 地 芳 樹		
こども保育教育課 運営支援室長	鶴 見 信 也		
こども保育教育課主幹	藤 井 美 紀		
総務課長補佐	香 川 昭 子		
総務課総務係長	別 所 里 美		
会議録署名委員	吉 澤 潔		
事務局担当書記	新 田 周 子		

【特記事項】 傍聴人なし

## 議 事 日 程（10月定例会）

日程第1 議案第31号 高松市社会教育委員の委嘱について

日程第2 議案第32号 高松市視覚障がい者等の読書環境の整備の推進に関する計画（高松市読書バリアフリー計画）の策定について

日程第2 報告事項

- 1 11月園長・校長・副校長研修会における実践事例研修について  
～「明日も行きたくなる学校」づくり～授業改善、学級経営、教職員の関わりなどを通して～
- 2 令和3年度「早寝早起き朝ごはん」生活リズムチェックシートによる調査結果について
- 3 第16回高松市子ども読書まつり 読書感想画展等の入賞者の決定について
- 4 高松市図書館の未来について考える市民参加型ワークショップの報告について
- 5 高松市立幼稚園における一時預かり事業について
- 6 令和4年度高松市立幼稚園の利用申し込みについて

【令和3年10月21日（木） 議 事 内 容】

---

午前9時30分 開会

教育長が、会議録の署名委員に吉澤委員を指名。

日程第1 議案第31号

議案第31号 「高松市社会教育委員の委嘱について」

生涯学習課長から、高松市社会教育委員の委嘱について説明。

<質疑>

(発言する者なし)

教育長が、各委員に諮り、原案のとおり可決。

---

日程第2 議案第32号

議案第32号 「高松市視覚障がい者等の読書環境の整備の推進に関する計画（高松市読書  
バリアフリー計画）の策定について」

中央図書館長から、高松市視覚障がい者等の読書環境の整備の推進に関する計画（高松市読書バリアフリー計画）の策定について説明。

<質疑>

- 委員 パブリックコメントの回答に、電子書籍の導入を検討しているとの記載がありますが、具体的にどのぐらい検討されているのでしょうか。
- 中央図書館長 読書バリアフリー計画と併せて、新型コロナウイルス感染症に係る問題への対策として、地方自治体の蔵書情報のオンライン化等、読書環境を充実させるための施策について国からの補助金があります。それも活用し、12月の議会で補正予算として計上し、今年度中に導入していきたいと考えております。
- 教育長 様々な方から、この取組についての広報活動をしっかりと行ってほしいとの御意見が出ております。今後、このような中央図書館での取組についての広報活動をしっかりと行って、これを必要としている人たちに必要な情報が届くようにしていきたいと思っております。このような取組は、全国的にも早い方なのですか。
- 中央図書館長 はい。検討しているというところも、まだそんなには多くないと思います。先日、県立図書館から問合せがありまして、その際に県立図書館でも進めていく予定であるというお話を伺いました。

教育長が、各委員に諮り、原案のとおり可決。

---

### 日程第3 報告事項

報告事項1 「11月園長・校長・副校長研修会における実践事例研修について ～『明日も行きたくなる学校』づくり～授業改善、学級経営、教職員の関わりなどを通して～」

学校教育課長から、11月園長・校長・副校長研修会における実践事例研修について ～「明日も行きたくなる学校」づくり～授業改善、学級経営、教職員の関わりなどを通して～について説明。

#### <質疑>

- 委員 全国的に不登校の児童・生徒が増えているという報道を目にしたのですが、高松市ではいかがでしょうか。
- 学校教育課長 国や県の動向と同じように、高松市でも増えております。
- 教育長 これにつきましては、ここ数年、最重要課題として園長・校長・副校長研修会でも話をしておりまして、各学校でも様々な方法をとっていただいているのですが、なかなか効果的な取組にならず、微増という状況です。11月18日に研修会を行いますので、ぜひお越しいただけたらと思います。

---

報告事項2 「令和3年度『早寝早起き朝ごはん』生活リズムチェックシートによる調査結果について」

生涯学習課長から、令和3年度「早寝早起き朝ごはん」生活リズムチェックシートによる調査結果について説明。

<質疑>

- 教 育 長 朝ごはんの摂取について気になるのですが、詳細なデータを見ますと、学年ごとに、朝食を全く食べていないという子の数が載っており、学年が上がるにつれて、だんだんその数が増えております。中学校では1年生から3年生に上がるにつれて人数が増えており、市内では合計で105人の生徒が朝ごはんを全く食べていないという結果になっています。小学校1年生、2年生でも9人ずつおります。朝ごはんを食べていない場合、例えば前日の晩御飯を18時に食べたとすると、給食まで合計で18時間ほど、何も食わずに午前中の授業を受けていることになります。これで午前中の授業を受けたり、体育の授業を受けたりできるのかという懸念があります。家庭での習慣で朝ごはんを食べていないというお子さんもいるように聞きますが、やはり朝何かおなかに入れて学校に来るということは非常に大切だと思います。また、回収率については小学校91.9%、中学校83.3%ですが、ここで回収できていない子は、おそらくデータとして悪い数字ではないかと思えます。達成率が良いものを提出しないということはあまりないと思えますので、達成率が悪いものがおそらく回収されていないのだと思えます。そうすると、朝ごはんを食べていないという子の人数がもっと多いのではないかと考えております。保護者の方々には、自身が食べない習慣であっても、子どもには何か食べさせるようにという願いは継続していこうと考えております。このチラシにも、「パパッと簡単！」ということで朝ごはんのレシピが載っており、このような簡単なものでいいので朝ごはんを食べさせていただけたらと思っているところですが、朝ごはん摂取の目標達成についての数字等は、毎年あまり変わらず推移しております。
- 委 員 この啓発資料に載せるのであれば、より実現性が高い内容がいいのではないかと感じました。

- 教 育 長     そうですね。実際には、学校での指導であればパン1枚でもいいから食べてきましょうというようになるのですが、パンもなく、冷蔵庫の中身も何もないという家庭もあります。親に言われなくても、自分で準備するという努力もできたらいいと思います。
  
- 委 員     昨年と今年の比較が出ていますが、去年は学校が休業の時期がありました。休業の時期でもやはり朝ごはんを食べなかったのでしょうか。朝、急いで学校に行かなければならず時間がないため食べなかったのか、休業でずっと家にいる子どもたちも食べていなかったのか、このあたりを調べることによって食べていないことの要因が家庭の問題かどうか分かるのではないのでしょうか。また、例えば土、日曜日は朝ごはんを食べているのかどうかを調べることで、時間的な問題が理由なのか、他の原因なのか分かるのではないのでしょうか。そのような調査はなかなか難しいかもしれませんが、いかがでしょうか。学校に行く日にこそ朝ごはんを食べてほしいということだと思いますので、現在の調査方法でいいのかもしれないとも思います。
  
- 生涯学習課長     本調査の回答には「毎日朝食を食べている」、「概ね朝食を食べている」という項目があり、「概ね」というのは週に4日以上食べているということを想定しております。週末については朝と昼と一緒に食べる家庭もありますので、そういった数字も影響していると思います。
  
- 教 育 長     これも、生活リズムチェックシートとして、1年間のうち、この時期の1週間だけを切り取っての調査だけですので、朝ごはんに力を入れるのであれば、ここに特化した調査を年に何回か行うことも必要なのかもしれませんね。各学校へは、今回の結果をどのように返すのでしょうか。
  
- 生涯学習課長     まず、チェックシート自体はそのまま学校に返却します。記名式なので、先生が個別に把握することが可能です。また、結果については冊子を配布します。それと、各家庭には朝食の摂取と学力調査の正答率との関係を示した啓発のチラシを配

布しております。

- 教 育 長 調査をしたことで終わるのではなく、調査結果をもとにどのように生活改善を図っていくかということが大切だと思いますので、そのあたりにも力を入れていきたいと思っております。

---

報告事項3 「第16回高松市子ども読書まつり 読書感想画展等の入賞者の決定について」

中央図書館長から、第16回高松市子ども読書まつり 読書感想画展等の入賞者の決定について説明。

<質疑>

- 教 育 長 去年は夏休みが短かったので応募が少なかったのですが、今年は去年よりは多かったですか。
- 中央図書館長 はい。読書感想画の方は、昨年度は277点の応募がございました。調べる学習コンクールの方は、11点の応募がありましたが、中学生の方は応募がございませんでしたので、小学生のみとなっております。
- 教 育 長 表彰式のこともお願いいたします。
- 中央図書館長 はい。11月7日に子ども読書まつりを開催いたします。その中で、午

前中に表彰式を行う予定としております。

- 教 育 長 読書感想画は、全国コンクールがないのですね。
  
- 中央図書館長 はい。
  
- 教 育 長 作品展は11月2日から行うこととなっており、7日には表彰式や子ども読書まつりもありますので、お時間がございましたらサンクリスタル高松へお越しただけたらと思います。

---

報告事項4 「高松市図書館の未来について考える市民参加型ワークショップの報告について」

中央図書館長から、高松市図書館の未来について考える市民参加型ワークショップの報告について説明。

<質疑>

- 委 員 10月2日のワークショップに来られた8名の方は、年齢層や経験など、どういった方がいらっしゃったのでしょうか。
  
- 中央図書館長 はい。ほとんどの方が、図書館のボランティアの方でした。一般の方だと思っていた方も、他の図書館ボランティアのOBの方など、全員の方が何らかの形で図書館に関係している方でした。

- 教 育 長     ボランティアの方というのは、読み聞かせを行っている方などでしょうか。
  
- 中央図書館長     はい。広く一般に募集を行ったのですが、図書館に関係していない方は来られませんでした。
  
- 委 員     素案を作って教育委員会定例会で諮るということですが、在り方自体を決める、将来構想というのはどこで決まるのでしょうか。協議会等はあるのでしょうか。
  
- 中央図書館長     図書館協議会がございますので、そちらの方でも諮る予定にしております。サンクリスタル高松には、歴史資料館と菊池寛記念館もございますので、そちらの各協議会にもお諮りする予定にしております。
  
- 委 員     もう少し広く、様々な方々に将来計画などについての意見を聞く機会はないのでしょうか。資料にある、直営で継続というのは時代に逆行しているような気がします。今、図書館は存続の危機にあり、在り方を検討するのに一番大事なところでは。経済面や人の流れ、交通などを総合して考える必要があり、より広く、いろいろな視点・観点から考えた方がいいと思います。もしかすると、奇抜とも思えるアイデアで起死回生を図れるかもしれません。もっと広く、様々な人が集まった会議といいですか、大きな動きができるようなものがあってもいいのではないかと思います。雑味を除いた図書館であってほしい、じっくり静かに本を読める場所を確保してほしいという意見も分かりますが、それだけでは今後、広く存続しないと思います。以前にもお伝えしましたが、高梁市の図書館はすごく立派で、大変活気があって、若い人が集まっており、駅のすぐそばにあって、蔦屋書店が入っております。そのような成功を目指すのであれば、やはりもう少し広い視野が必要だと思います。従来の図書館を愛する人の気持ちもよく分かるのですが、そうなるとだんだん萎縮していくような気がします。
  
- 教育局長     図書館自体は市民が一番広く利用されている施設だと思いますので、その在

り方ですから、今後何十年という視点が必要ですので、そういった点でも検討していきたいと思っております。

- 委員 例えば、サンクリスタル高松が瓦町フラッグの下にあれば、もっと多くの方が利用されると思います。行政の書類をもらいに行けたり、本屋があったり電車も通っていたりする、このようなことを考えると思い切って瓦町に移動してしまうというのも一案だと思います。
- 教育局長 そうですね。幅広く意見が聞けるような仕組みについては検討したいと思います。
- 委員 また、先ほどの説明の際に開館30年で老朽化が問題とありましたが、30年しかもたないというのは、短いように思います。今後作るのであれば、もう少し長持ちする建物を建てるのが望ましいと思います。
- 委員 老朽化は設備関係だけで、躯体は大丈夫だと思います。
- 教育局長 今回は、どちらかと言えばリニューアルという感じです。
- 委員 そうであるならば、この場所からの移動は難しいということでしょうか。
- 教育局長 移動となると、現実的には難しい部分ではあります。その部分に関しても、固定観念を廃した御意見も出る中で、やはりこの場所でのリニューアルを考えるという方向になっていると思います。
- 委員 現在はインターネットがありますから、図書館がなくても色々と調べることができ、研究などもできます。その中で図書館が抜け出そうということであれば、例えば様々な行政関係の手続きをできるようにするなど、付加価値をつけるのが一番よいのではないかという気がします。

- 教育長 庁内検討会では図書館を移動する案など、様々な案が出ておりました。ただ、まずはこの場所で今後に向けてどのように考えていくかということを検討しております。また、ここが特徴的なのは歴史資料館と菊池寛記念館という2館が入った複合施設であるということです。今後も、教育委員さんの御意見を伺いながら進めていきたいと思っております。
- 

#### 報告事項5 「高松市立幼稚園における一時預かり事業について」

こども保育教育課運営支援室長から、高松市立幼稚園における一時預かり事業について説明。

##### <質疑>

- 教育長 現在一時預かりを行っている5園の状況はいかがでしょう。
- 運営支援室長 4月～8月の実績を平成30年度から比べますと、増えている状況でございます。ただ、昨年度はコロナ禍の影響があり、一時休園や登園自粛をお願いした期間がありましたので、4～8月は減少しておりました。今年は、過去に比べて一番利用が伸びている状況でございます。利用が一番多い幼稚園では、4～8月で約170件ほど利用がございました。
- 教育長 これは、預かり事業とは別のものなのですね。
- 運営支援室長 はい。あくまで緊急時等の一時預かりというものです。

- 委員 保護者からすると、非常に有効なことだと思います。例えばコロナウイルスのワクチン接種に行く際などには、小さい子どもを連れて行くのは困難ですので、こういった事業があるといいと思います。私立の幼稚園では、在園児だけでなく下の子どもも預かってくれるなどのサービスを行っているところもあると聞いております。
- 運営支援室長 本市の場合は、対象者は在園している園児ということにはなっております。ただ、利用されている方からは大変有効であるというお声をいただいているとともに、今回新たに加えます3園につきましても、このサービスがあれば是非利用したいという御意見を70%以上の保護者からいただいております。
- 委員 在園している園児ということですが、一般的には行っていないのでしょうか。これが利用できることによって、入園児数の増加につながればいいと思います。
- 委員 先日、園訪問で入園児数についてお話を伺った際にも、預かり事業を実施していないことが、園児数が少ない一因になっているという話が出ていました。
- 運営支援室長 私立の園もありますので難しいのですが、引き続き園児の確保に努めていきたいと思っております。今後、本格実施していく中で、本事業を実施する園の拡大等についても考えていきたいと思っております。
- 委員 この事業は、ひいては少子高齢化対策にもつながってくると思いますので、よいと思います。私立の幼稚園についてですが、公的なところが力を入れれば、民間は更に頑張ると思います。
- 教育長 幼稚園は全部で何園でしたか。
- 運営支援室長 19園です。

- 教 育 長     19園のうちの8園で実施するということですね。
  
  - 運営支援室長     はい。試行から本格実施にうつるということで、補助金も活用しながら利用料金の面でも少しでも利用しやすいものにできたらと思っております。
  
  - 教 育 長     全く実施していなかったところから少しずつ広がってきて、保護者の利便性が上がってきていると思います。より一層の努力をお願いいたします。
- 

報告事項6 「令和4年度高松市立幼稚園の利用申し込みについて」

こども保育教育課主幹から、令和4年度高松市立幼稚園の利用申し込みについて説明。

<質疑>

- 委 員     1号認定や2号認定という書き方では、利用者や市民の方にとっては分かりにくいと思いますので、分かりやすい表現にした方がいいのではないのでしょうか。
  
- こども保育教育課主幹     はい。1号認定は、保育を必要とせず教育のみを受ける子どもたちのことで、幼稚園児及びこども園のうち保育を受けずに帰る子どもたちのことをいいます。2号認定、3号認定は、保育を必要とする子どもたちのことをいいます。そのうち、0～2歳児までは3号認定、3～5歳児までを2号認定といいます。
  
- 教 育 長     それは要項を見たら分かるのでしょうか。

- こども保育教育課主幹 はい、要項の中には記載しております。保育所等を利用する際には、保護者が就労しているなど、保育に限るということが必要になってきますので、この認定を受けるということで1号～3号という区別が必要になってきます。
- 委員 昨年度の募集の際に、定員に対して実際に入園された子どもの割合というのはどのくらいでしょうか。
- こども保育教育課主幹 今、正確な数字は有していませんが、去年の5月1日現在の3歳児は約190名で、定員の半分以下、3分の1程度です。
- 委員 全体的に減少しているのでしょうか。
- こども保育教育課主幹 はい。幼稚園がこども園化しているということもあるのですが、公立の幼稚園の園児数というのは毎年約200名ほどになっております。来年度については、こども園に変更する幼稚園はありませんので、今年とほぼ同数の200名弱が入園するのではないかと思います。
- 委員 現在、幼稚園が19園あるとのことでしたが、それらの園がこども園に移行できないというのは、私立の園との関係もあるのでしょうか。
- こども保育教育課主幹 高松市立幼保連携型認定こども園整備基本計画というものがありまして、それに沿って幼稚園、保育所も今後のことを検討しております。この度、一時預かりをする3園、前田、川添、一宮幼稚園については保育所と一緒にこども園になるという計画はないので、預かり保育をして幼稚園としての機能を充実させるということもあるのですが、計画の中で進めていっている状況です。
- 運営支援室長 先ほどの3つの園では、クラス全体を合わせても30名を下回っているような状況ですので、少しでも役割を果たすため受け皿として事業面で工夫してまいりたいと思っております。

- 委 員 こども園には変わらず、幼稚園のままかどうか。
- 運営支援室長 はい。現在のところはその予定で進めております。
- 教 育 長 最終的に幼稚園として残るのは3園だけでしたね。計画では、残りの16園はこども園に変わるのでしたね。
- こども保育教育課主幹 こども園になるか、統合するようになります。
- 教 育 長 特別な支援を要する幼児ですが、最終的に幼稚園がお断りをするようになった場合は養護学校の幼稚部等に行かれるようになるのでしょうか。
- こども保育教育課主幹 幼稚部の定員が大変少なく、入っていない状態と伺っています。今の段階では入園には至っておらず保留の状態になっていますが、園長先生と相談しながら、体験入園という形で保護者の方と一緒に園に来ていただく機会を作って様子を見ているとのこと。保護者の方には、デイサービスや養育機関との連携等について、園の方からお伝えするなどの形でアプローチを行っているようです。園では、3歳児で入園がかなわなかったとしても、4歳児、5歳児のどこかでは入れるようにと考えてくれているようです。子どもにとって、就学時に集団経験がないということになってしまうのはよくないので、受け入れられるように引き続き考えていきたいです。
- 委 員 高松市は、在宅ケア時の対策が他県に比べて相当遅れております。例えば徳島は大変進んでいて、在宅療養について子どもと大人の両方を並行して対策を進めているのですが、高松市の場合は高齢者の方ばかり進んでおり、子どもの方は施設でも在宅ケアをしてくれるところが1、2施設しかありません。幼稚園になると、その上に更に教育という点も関わってきます。院内学級や施設の中で先生を配置するというような方向を検討し、養護施設に先生を入れて学級として成立するようなものを作る

など、もう少し根本的に方法を変えて考えていかなければならないと思います。

- 教 育 長 現在、教育委員会も連携して、医療的ケア児を受け入れられるように少しずつ進めております。
- 委 員 子どもたちが学校へ行ったり集団生活が送れるようになってきたことが、まず必要だと思います。子どもの将来のためにも、ケア児ということで家や病院に閉じ込めないようにしないといけないと思っております。
- 教 育 長 そうですね。

---

午前10時51分 閉会

---

## 議決事項

「高松市社会教育委員の委嘱について」

「高松市視覚障がい者等の読書環境の整備の推進に関する計画（高松市読書バリアフリー計画）の策定について」